

令和4年度農業委員会の農地利用の最適化の推進の状況その他事務の実施状況の公表

都道府県名： 千葉県

農業委員会名： 茂原市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

※ 「I 農業委員会の現況」については、別紙様式1の内容を転記

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年8月3日

任期満了年月日 令和6年8月2日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	—
女性	—	2
40代以下	—	—
中立委員	—	2

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	15	15	9

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,350
農業経営体数	928

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	955
女性	333
40代以下	50

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	64
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	10
農業参入法人	13
集落営農経営	4
特定農業団体	0
集落営農組織	4

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,100	949	949	0	0	3,050

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の実施状況

【農業委員会の実績及び点検・評価結果】

※ 「現状及び課題」及び「目標」については、別紙様式1の内容を転記

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	3,050 ha	386 ha	12.7 %
課題	土地改良済等の優良農地や、条件の良好な農地については土地利用がすすんできてはいるが、条件不利地(圃場の形が悪い・進入路がない、湿田・狭小地等)については、担い手等への賃借につながる事が難しい。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和5 年度	集積率	51 %
今年度の新規集積面積	585 ha	農地面積(C)	3,050 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	971 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	31.8 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

③実績

今年度の新規集積面積	5 ha	農地面積(F)	3,050 ha
今年度末の集積面積(累計)(G)	391 ha	今年度末の集積率 (H)=(G)/(F)	12.8 %
目標に対する達成状況(H)/(E)	40.3 %		

農業委員会の点検結果	目標に対する達成状況は40.3%という結果となった。 優良農地や好条件の農地については、土地利用は進んできているが、更なる集積・集約化に向けた取組みが必要である。それには農業委員・推進委員の個別活動による推進が重要と思われる。
------------	--

※1 今年度の新規集積面積は、当該年中の集積面積(フロー)を記入

※2 今年度末の集積面積(累計)は、年度末時点の集積面積(ストック)を記入

(2) 遊休農地の発生防止・解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
		341 ha	341 ha
課題	土地所有者への農地の適正な管理についての周知。 条件不利地は、一時的に遊休農地を解消したとしても、担い手への賃借に結び付きにくい。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	341.1 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積(C)	68.2 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.0	ha
--------------------------	-----	----

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	90.9	ha
---------------------------	------	----

③実績

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

今年度の緑区分の遊休農地の解消実績面積(D)	64.5	ha
今年度の目標に対する達成状況(D)/(C)	94.6	%

b 黄区分の遊休農地の解消

黄区分の遊休農地の解消に向けた工程表の策定状況	
-------------------------	--

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消実績面積	9.8	ha
---------------------------	-----	----

④その他

農地の利用状況調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和4年7月～令和4年9月		令和4年9月～令和4年12月	
	1号遊休農地の面積	299.0 ha	うち緑区分の遊休農地	58.4 ha
			うち黄区分の遊休農地	240.6 ha
農地の利用意向調査	調査実施時期		調査結果取りまとめ時期	
	令和5年1月上旬～令和5年3月上旬		令和5年2月中旬～令和5年3月下旬	

農業委員会の点検結果	目標に対し94.6%と概ね達成された結果となった。農地の適正管理についての周知活動を、年2回発行の農業委員会だよりや農業委員・推進委員による各農家に対する個別指導等により行ってきた成果によるものと思われる。
------------	---

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者
	1 経営体 1.8 ha	5 経営体 2.5 ha	4 経営体 2.7 ha
課題	高齢化や後継者不足等の理由による離農で、市内農家数は年々減少している。地域農業を推進していくためにも、新規就農者への支援を、関係機関と連携して進めていく必要がある。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体に集積した農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	428 ha	469 ha	356 ha	418 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積(A)	41.8 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

③実績

新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表した農地の面積(B)		0.0	ha
公表URL		(その他の公表方法)	窓口での公表
目標に対する達成状況(B)/(A)		0.0	%
(参考)新規参入者の参入状況		参入経営体数	3 経営体
		取得農地面積	1.6 ha

農業委員会の点検結果	目標に対し0%という結果となった。 理由は、新規参入希望者等から相談があった場合は、農業委員会事務局と担当地区の農業委員、推進委員の連携により、農地の斡旋に向けた調整を行うことで、農地貸借等に繋がっていることから、同意を得ての公表は行わなかった。
------------	--

※ 参入経営体数は、農地を取得して新たに農業に参入した経営体数を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	6 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14 人
		農地利用最適化推進委員の人数	15 人

(2) 活動強化月間の設定

①目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
10月	遊休農地の解消	利用状況調査により確認した遊休農地所有者等に対し、個別訪問により農地の適正な管理について呼びかけを行う。
12月	農地の集積	高齢化や後継者の不在等により、今後遊休農地の発生する可能性がある農業者に対し、個別訪問により状況を把握したうえで、農地の集積を推進する。
1月	遊休農地の解消 農地の集積	利用意向調査未提出者への個別訪問を実施し、調査票の回収と併せて農地の適正な管理と貸し借りについて説明し、農地の集積を推進する。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の発生防止・解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

②実績

活動強化月間の設定回数	0 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の結果
10月	遊休農地の解消	強化月間前の総会にて各農業委員、推進委員へ強化月間への取組みについて周知し活動してもらったが、強化月間としての実績は期待をやや下回る結果となった。
12月	農地の集積	強化月間前の総会にて各農業委員、推進委員へ強化月間への取組みについて周知し活動してもらったが、強化月間としての実績は期待をやや下回る結果となった。
1月	遊休農地の解消 農地の集積	強化月間前の総会にて各農業委員、推進委員へ強化月間への取組みについて周知し活動してもらったが、強化月間としての実績は期待をやや下回る結果となった。

※ 強化月間の結果欄は、強化月間中に行った具体的な取組の内容とその結果生じた効果等の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加

①目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和4年11月	相談会名	千葉県農林水産就業相談会
参加者数		開催場所	千葉市内会場及びWeb
相談会の内容	新規就農に係る情報提供や個別相談等を、会場及びWebにて開催し、農業への参入を促進し、県内の農業を支える多様な担い手の育成・確保を目的とする。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加する場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する

②実績

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和4年11月23日	相談会名	千葉県農林水産就業相談会
参加者数	1人	開催場所	千葉ポートアリーナ内TKPガーデンシティ 千葉およびWebによる参加
相談会の内容	茂原市長生管内における、管内各産地の実状などの事例を踏まえて、就農に向けた道筋、茂原市長生管内で農業をしていくための心構え、独立就農と雇用就農の選択、雇用就農募集状況、移住に関すること、活用できる支援制度や相談先など基本的な相談に応じた。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※1 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加した相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加した新規参入相談会ごとに1回とする)

※2 複数の新規参入相談会に参加した場合は、適宜、開催時期以下の欄を追加する(評価点欄は追加しない)

目標の達成状況の評語

目標に対して期待通りの結果が得られた。

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語を記入

【推進委員等の点検・評価結果】

評語	推進委員等の人数
目標に対し期待を大幅に上回る結果が得られた	0
目標に対し期待を上回る結果が得られた	0
目標に対して期待どおりの結果が得られた	0
目標に対して期待を(やや)下回る結果となった	29

※ 別表に基づいて成果目標及び活動目標の各目標の達成状況に対する評語ごとの該当する推進委員等の人数を記入